

気圧の谷や寒気の影響による降雨の防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、10月31日16時50分、角川流域の柴倉山雨量観測所しばくらやまにおいて、降り始めからの連続雨量が80mmを超えたため、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

10月31日(土)16時50分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(10月31日16時50分現在)

[角川流域]

しばくらやま
柴倉山雨量観測所 連続雨量 80mm

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(砂防) 佐藤 勝美(内線205)

調査課長 田村 公仁(内線351)

雨量観測所位置図(砂防)

赤字:連続雨量が80mmを超過した雨量観測所

囲み:連続雨量が120mmを超過した雨量観測所

または時間雨量が40mmを超過した雨量観測所

